

水曜日
11月18日
2025年
【昭和100年】

なにわ地区協議会

最新ニュースと速報

なにわ地区協レクリエーション（繁昌亭と中国料理大陸風グルメ）

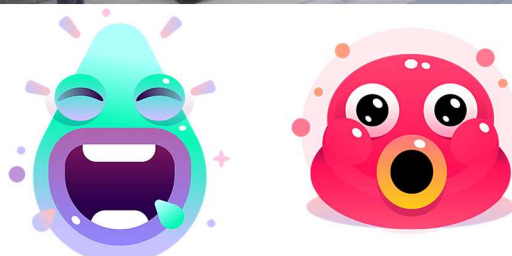
開催日時：2025年11月18日(水) 13時00時～16時00分
開催場所：繁昌亭(13時～16時10分) **大入満員御礼**
中国料理：中国料理・大陸風(16時30分～18時) 出席人数：58名

【なにわ地区協・レク繁昌亭&中国料理大陸風】

2025年11月18日(水曜日)、秋晴れの心地よい一日、なにわ地区協レクに、総勢58名が参加し、大阪・天満にある繁昌亭へと足を運びました。繁昌亭は上方落語の本場として知られ、また文化勲章受賞の【桂米朝】生誕百周年記念の月間です。本日の公演には、**完売御礼の札**が掲示されており、出演者の中に、朱色で書かれている方がいますが、この方は落語ではなく、落語・講談以外の芸人（浪曲、奇術、曲独楽等）の方と館長から教えていただきました。ちなみに、この館長はNTT出身で、本日のトリを務める【露の都】師匠のご主人です。

参加者全員の受付後、13時玄関前の太鼓を聞きながら入場し会場に入ると、すでに多くの観客が席に着いており、落語への期待感が高まる中、私達もそれぞれの席に着きました。ちなみにNTT退職者の会は、舞台から1列目-4列目の良い席を確保していました。この日の演目は、【かかお】さん～【露の都】師匠の実力派までの演目が揃い、笑いあり、涙ありの充実した内容でした。古典落語から新作まで、巧みな話術と絶妙な間合いに引き込まれ、会場は終始笑いに包まれていました。特に、最後のトリを務めた【露の都】師匠は、最初にNTT退職者の会が60名の予約してもらい、ご主人がNTTであつてことを話されたことにとっても親近感を感じました。また演目では旦那と妾の話をユーモラスに描き出し、共感と笑いが交錯するひとときとなりました。参加者の皆様からは「久しぶりに心から笑った」「落語の奥深さを改めて感じた」といった声が聞かれ、文化芸術の力を実感する時間となりました。落語鑑賞の後、近隣にある中国料理「大陸風」へ移動し、懇親会を開催しました。店内は落ち着いた雰囲気、円卓を囲みながらの食事で、完全に店を貸切にして58名の皆様が1階と2階に分けて着席後、尾崎会長代行の挨拶と支部協の吉田事務局長から挨拶を頂き懇親会が始まりました。（ちなみに、1階は益田事務局長と支部協の辻井事務局次長に挨拶を頂きました。）料理は本格的な中華で、前菜から点心、海鮮料理、デザートに至るまで、どれも彩り豊かで味わい深く、参加者の舌を楽しませてくれました。特に、名物の麻婆豆腐は程よい辛さと深いコクが絶妙で、中には「また食べたい」と絶賛されていました。食事を楽しみながら、参加者同士の交流も深まり、笑顔と会話が絶えない和やかな時間が流れました。初めて参加された会員様もすぐに打ち解け交流が生まれたことは、今回の企画の大きな成果の一つです。最後には、まだゆっくりしたい思いもありましたが、中締めで参加された方へのお礼を伝え、参加者全員が笑顔で満足した表情で帰っていただきとても嬉しく思いました。

今回の落語鑑賞と懇親会は、落語の文化と食を通じて心を豊かにする素晴らしい機会となりました。参加者の皆様からは「またぜひ参加したい」との声が多く寄せられ、次回への期待も高まっています。今後もこのような交流の場を大切にし、笑顔あふれる時間を共有していきたいと思います。



なにわ地区協レクリエーション（繁昌亭と中国料理大陸風グルメ）



笑いは、元気の源